

## 検査情報

### 1. ウイルス検査情報（大阪府・大阪市・堺市）

#### 1) 平成 25 年検出ウイルス

平成 25 年 1 月から 12 月の間に大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課、大阪市立環境科学研究所調査研究課微生物保健グループ、堺市衛生研究所微生物グループにおいて検査を行った検体総数は、2,606 件であり、うちウイルスを検出した陽性検体数は、1,465 件で、陽性率 56.2%であった。

ウイルスの検出総数は 1,507 例であり、検体数が平成 24 年の 2,440 件に比べて 6.8%増加したこともあり、平成 24 年の検出総数 1,390 件に比べ、8.4%増加した。陽性率は平成 24 年の 50.9%に比べて高かった。

平成 25 年の大きな特徴は、風しん（748 件）および麻しん（279 件）の検体数が平成 24 年に比べて大きく増加し、風しんウイルス（694 例）の検出数が最も多かったことである。しかしながら、表 1～表 4 の検査情報には大阪府の風しんおよび麻しんのウイルス検出情報の多くが集計されていないため、本項では両疾患および関連の検出ウイルスを除いて解説した。なお、風しんおよび麻しんについては、検査情報を含めてそれぞれ「I 1. 1) 平成 25 年注目された感染症 風しん」および「I I I 4. 四類・五類感染症（全数把握分）麻しん」の項で解説しており、そちらを参照されたい。

#### (1) 月別ウイルス検出数

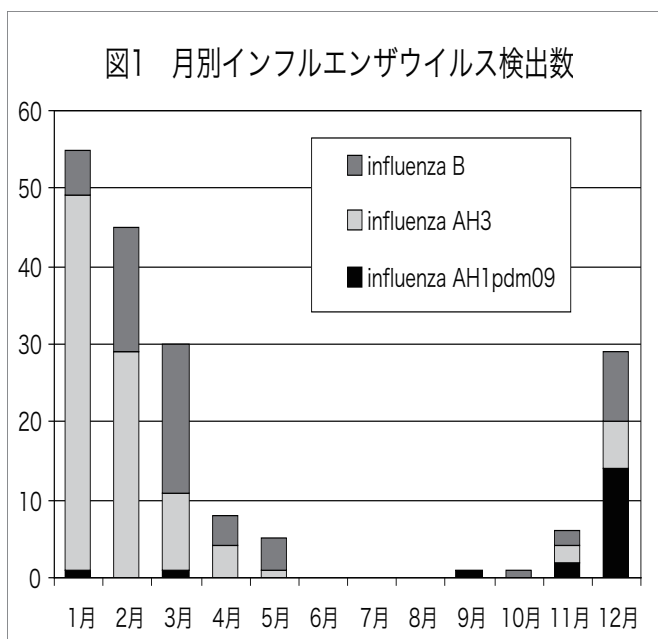
表 1 に平成 25 年に大阪府・大阪市・堺市で検出されたウイルスを月別に示す。

年間で最も多く検出されたウイルス（風しんウイルスおよび麻しんウイルスを除く、以降は同じ）は、インフルエンザウイルス 180 例であり、次いでエンテロウイルス 166 例、ライノウイルス 84 例、ノロウイルス 74 例、アデノウイルス 63 例、ロタウイルス 55 例、RSウイルス 48 例、ヒトメタニューモウイルス 35 例、パラインフルエンザウイルス 33 例、サポウイルス 21 例の順であった（表 1）。

表1 月別ウイルス検出数 (2013.1～12)

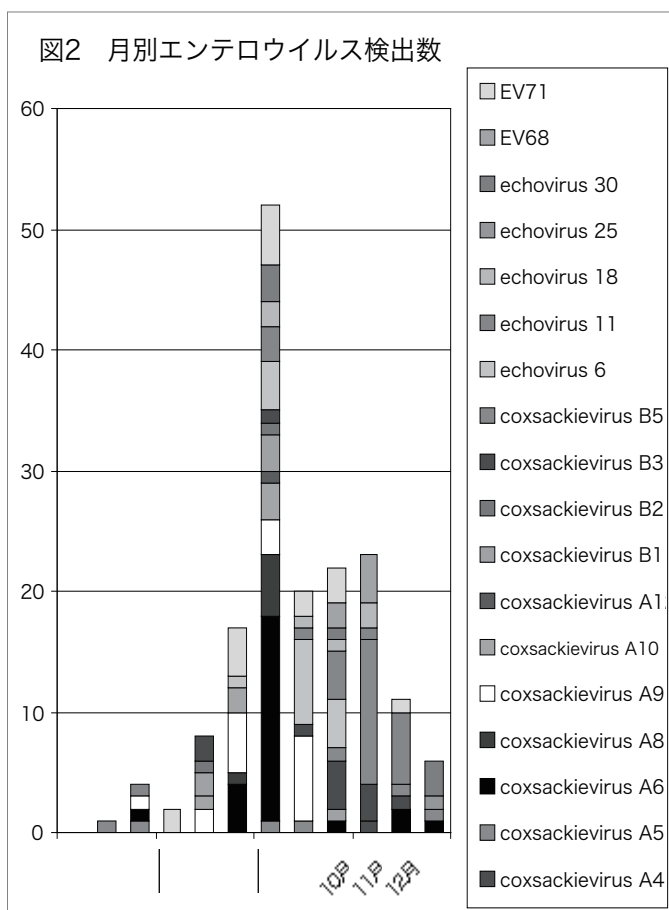
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
adenovirus1		1	1	2		3						1	8
adenovirus2	1			5	3	1	2			1		2	15
adenovirus3								4	5	1	4	2	16
adenovirus4					1		1						2
adenovirus5			1								2	1	4
adenovirus6			1		1	1						1	4
adenovirus37			1	2									3
adenovirus40/41	1		1	1	1								4
adenovirus54								1					1
adenovirus56								1			1		2
adenovirus untype						1	1	1				1	4
Hcov-NL63	3												3
Hcov-OC43	2			1	1	2							6
hMPV	3	6	12	6	5		1		1			1	35
RSA	7	5	5	3	3	1		3	2	2	4		35
RSB	1	2					2		1	1		1	8
RS untype								4				1	5
AH1pdm09	1		1						1		2	14	19
AH3	48	29	10	4	1						2	6	100
B	6	16	19	4	4					1	2	9	61
parainfluenzavirus1	2					3	4	1					10
parainfluenzavirus3				3	9	6	3		1				22
parainfluenzavirus4											1		1
Rhino	6	7	6	13	9	5	6	3	8	6	11	4	84
coxsackievirusA4										1			1
coxsackievirusA5			1				1	1					3
coxsackievirusA6			1			4	17		1		2	1	26
coxsackievirusA8						1	5						6
coxsackievirusA9			1		2	5	3	7					18
coxsackievirusA10					1	2	3						6
coxsackievirusA12							1						1
coxsackievirusB1					2		3		1				6
coxsackievirusB2					1		1						2
coxsackievirusB3					2		1	1	4	3	1		12
coxsackievirusB5		1							1	12	1	1	16
echovirus6						1	4	7	4				16
echovirus11			1				3	1	4	1	6		16
echovirus18							2	1	1	2			6
echovirus25												1	1
echovirus30							3		1			3	7
EV68									2	4			6
EV71				2		4	5	2	3		1		17
Parecho1										1			1
norovirusG1	1	1	1		2	1							6
norovirusG2	7	4	10	5	4	2		3		4	13	16	68
sapovirus	2	3	6		2		3			1	1	3	21
astrovirus			1					1				1	3
astrovirus untype					3					1		3	7
rotavirusA	4	10	18	10	8	1	1	0					52
rotavirus untype								1		1	1		3
Dengue1						1	1		1	1	1		5
Dengue2		1			1				3				5
Dengue3										2	1		3
Herpes simplex virus1			1			1	1						3
Human herpesvirus6B					1					1			2
Human herpesvirus6 untype			1	1	2		1						5
Human herpesvirus7							1						1
varicella zoster virus				1									1
measlesD8			3	3									6
Rubella	8	10	48	205	282	98	32	5	3			3	694
Mumps	1					1					1		3
計	104	96	151	271	351	145	112	48	48	47	58	76	1507

インフルエンザウイルスの中では、A H 3（香港）亜型が100例と最も多かった。平成24/25年インフルエンザシーズンは1月から5月の期間検出され、特に1月から3月に87例と多かった。平成25/26年シーズンは11月以降8例であった。次いでB型が61例と多く、平成24/25年シーズンの1月から5月に49例検出された。一方、A H 1 p d m 09は、平成24/25年シーズンの1月および3月にそれぞれ1例ずつであったが、平成25/26年シーズンは9月以降に17例検出された。



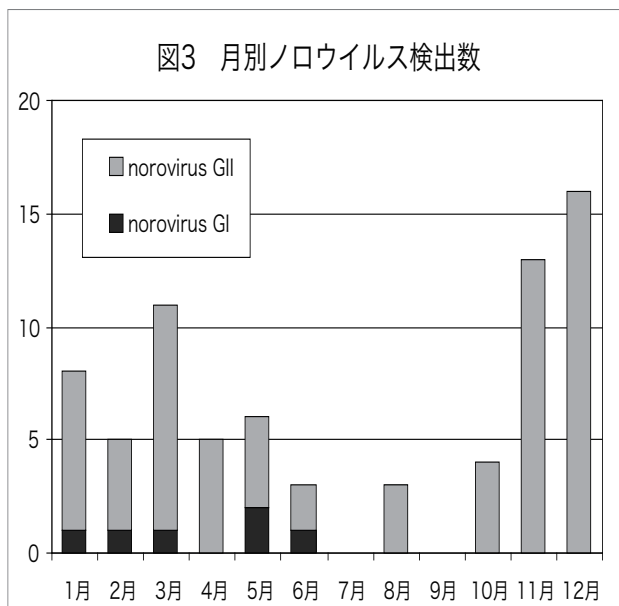
また、A H 1（ソ連）亜型は、平成23年、平成24年に続いて検出されなかった（図1）。

エンテロウイルスは、7月に52例と最も多く、次いで10月23例、9月22例、8月20例、6月17例であり、6月から10月の5カ月間に80.7%（134/166）検出された。エンテロウイルスの中では、コクサッキーウイルスA6型が26例と多く、主に6月および7月（21例）に検出された。次いでコクサッキーウイルスA9型が18例であり、主に5月から8月に検出された。また、他にエンテロウイルス71型17例、コクサッキーウイルスB5型16例、エコーウイルス6型16例、エコーウイルス11型16例も多かった。平成23年および平成24年に検出報告のなかったエンテロウイルス68型は6例検出された。ポリオウイルスは検出されなかった（図2）。



ライノウイルスは、年間を通して検出され、4月が13例と最も多く、次いで11月11例、5月9例、9月8例であった。最も検出数が少なかったのは8月3例であった。

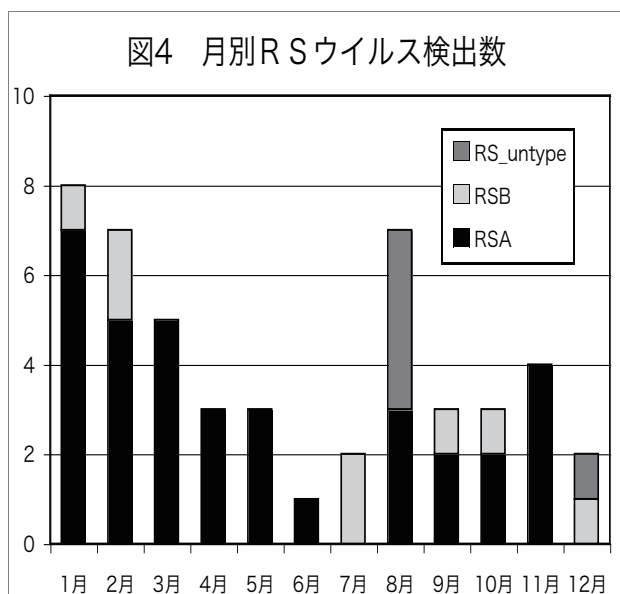
ノロウイルスは、ノロウイルスG II型68例が7月および9月を除くすべての月で検出され、12月16例、11月13例、3月10例であった。ノロウイルスG I型は6例検出された(図3)。



アデノウイルスは、年間を通して検出され、3型16例が最も多く、8月から12月に検出された。次いで2型が主に4月から7月に15例、1型8例であり、少なくとも10種類の型が認められた。

ロタウイルスは、94.5% (52/55) がA群であり、他は群不明であった。9月および12月を除くすべての月で検出され、最も多く検出されたのは3月18例であり、次いで2月と4月各10例、5月8例であった。

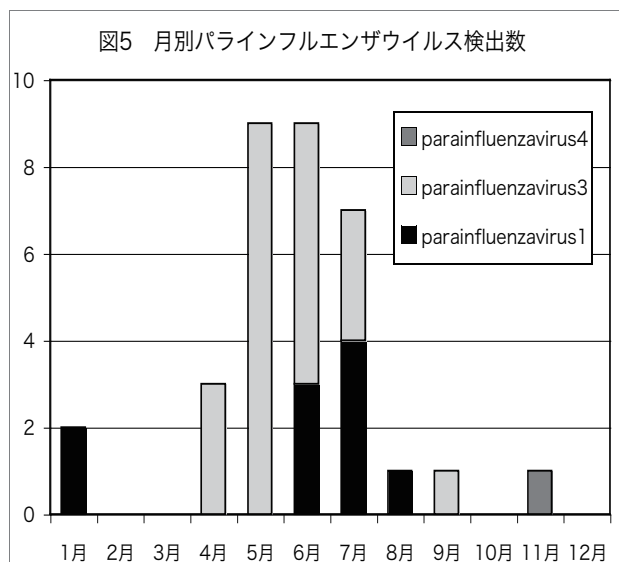
RSウイルスは、年間を通して検出され、1月8例が最も多く、次いで2月と8月各7例、3月5例であった。A型が35例と最も多く、B型8例、型不明5例であった(図4)。



ヒトメタニューモウイルスは、3月が12例と最も多く、1月から5月の期間に91.4% (32/35) が検出された。

パラインフルエンザウイルスは3種類の型が検出され、3型22例が最も多く、主に4月から7月の期間に95.5% (21/22) が検出された。1型は6月から8月の期間に80% (8/10) が検出され、4型は1例が11月に検出された。2型は検出されなかった (図5)。

サポウイルスは、4月、6月、8月、9月を除くすべての月で検出され、3月6例が最も多かった。



月別のウイルス検出数では、3月100例が最も多く、次いで1月96例、2月86例、7月80例であった。1月から3月はインフルエンザウイルスが最も多く、2月と3月はロタウイルスも多く検出された。7月はエンテロウイルスが最も多く検出された。

表2 年齢別ウイルス検出数 (2013.1～12)

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～90	99	総計
adenovirus1	3	2	1	1			1							8
adenovirus2	3	9			2								1	15
adenovirus3		3	2	1	6	3	1							16
adenovirus4	1											1		2
adenovirus5	1	1			1									3
adenovirus6	2	2												4
adenovirus37					1							2		3
adenovirus40/41	3					1								4
adenovirus54									1			1		2
adenovirus56	0											2		2
adenovirus untype		2				1			1					4
Hcov-NL63	1								1				1	3
Hcov-OC43	2	1	1	1								0	1	6
hMPV	14	10	2	2	1	1				1	1	2	1	35
RSA	15	4	5	5	2	1	1						2	35
RSB	4	2	1		1									8
RS untype	1	1	1	1							1			5
AH1pdm09		1	1	1		1	1		2		1	11		19
AH3	3	4	3	6	8	4	4	4	5	1	12	45	1	100
B		1	4	3	2	1	3	6	2	5	14	19	1	61
parainfluenzavirus1	1	6		2								1		10
parainfluenzavirus3	8	8	2		2						2			22
parainfluenzavirus4	1													1
Rhino	32	27	11	4	4		1		1		2	1	1	84
coxsackievirusA4						1								1
coxsackievirusA5	1	1	1											3
coxsackievirusA6	2	16	4	1	2				1					26
coxsackievirusA8		2	1	1					1				1	6
coxsackievirusA9	5	4	2		4	1	1					1		18
coxsackievirusA10	3	1	2											6
coxsackievirusA12						1								1
coxsackievirusB1	4	2												6
coxsackievirusB2		1						1						2
coxsackievirusB3	7		4										1	12
coxsackievirusB5	13	2									1			16
echovirus6	2	2				3	3	3			3			16
echovirus11	3	3	3		2	3		1	1					16
echovirus18	3					1		1			1			6
echovirus25						1								1
echovirus30	3			3							1			7
EV68	2		2				1			1				6
EV71	4	5	3	1		3					1			17
Parecho1	1													1
norovirusG1		1		1	1	1			1		1			6
norovirusG2	12	27	4	2	1	1	2	3		1	5	9	1	68
sapovirus	5	5	4		2	1	3				1			21
astrovirus	2				1									3
astrovirus untype	1	1	1	1	2	1								7
rotavirusA	9	16	12	5	2	3	3		1	1			1	53
rotavirus untype	1		1											2
Dengue1												5		5
Dengue2												5		5
Dengue3												3		3
Herpes simplex virus1		1			1				1					3
Human herpesvirus6B	1	1												2
Human herpesvirus6 untype	1	4												5
Human herpesvirus7												1		1
varicella zoster virus								1						1
measlesD8		3										3		6
Rubella	5	4				3	3			1	14	661	3	694
Mumps					1		1				1			3
計	185	186	78	42	49	37	29	20	19	13	60	773	16	1507

## (2) 年齢群別ウイルス検出数 (表 2)

年齢群別で最も多くウイルスが検出されたのは1歳未満の180例であった(風しんウイルスおよび麻しんウイルスを除く、以下同じ)。次いで1歳の179例、15～90歳未満の109例と続いた。

1歳未満で最も多く検出されたウイルスは、エンテロウイルスの52例であり、少なくとも13種類に分類された。コクサッキーウイルスB5型13例が最も多く、B3型7例、A9型5例であった。次いでライノウイルス32例、RSウイルス20例、うちA型15例、ヒトメタニューモウイルス14例、アデノウイルス13例、ノロウイルス12例(すべてGII型)であった。

1歳で最も多く検出されたウイルスは、エンテロウイルスの39例であり、うちコクサッキーウイルスA6型が16例であった。次いでノロウイルス28例、うちGII型が27例、ライノウイルス27例、アデノウイルス19例、ロタウイルス16例(すべてA群)、パラインフルエンザウイルス14例であった。

15～90歳では、インフルエンザウイルスが75例と最も多く、次いで本年齢群においてのみ検出されたデングウイルス13例であった。検出されたインフルエンザウイルスは、AH3(香港)亜型が45例、B型19例、AH1pdm09 11例であった。

## 2) 月別・疾患別検体数とウイルス陽性例数

## (1) ウイルス陽性率 (表 3)

平成25年の検体総数は風しん(748件)および麻しん(279件)を除いて1,579件、うちウイルスを検出した陽性検体は755件、陽性率47.8%であった。

## (2) 月別・疾患別検体数およびウイルス陽性数 (表 3)

検体数の多かった月は、3月の180件(構成比11.4%、180/1579)であり、次いで1月の165件(10.4%)、2月153件(9.7%)、7月152件(9.6%)、5月147件(9.3%)、4月134件(8.5%)の順であった(風しん検体および麻しん検体を除く、以下同じ)。

3月は感染性胃腸炎が50件で最も多く、この月の検査数の27.8%(50/180)を占めており、次いでインフルエンザ35件19.4%、下気道炎21件11.7%であった。1月は、インフルエンザ60件(36.4%、60/165)が最も多く、次いで感染性胃腸炎31件(18.8%)、下気道炎15件(9.1%)であった。2月は、1月同様にインフルエンザ53件(34.6%、

53/153) が最も多く、次いで感染性胃腸炎 29 件 (19.0%)、下気道炎 24 件 (15.7%) であった。7 月は、無菌性髄膜炎 32 件 (21.1%、32/152)、感染性胃腸炎 22 件 14.5%、ヘルパンギーナ 22 件 14.5%が多かった。5 月は感染性胃腸炎 39 件 (26.5%、39/147) が最も多く、次いで下気道炎 18 件 (12.2%)、無菌性髄膜炎 11 件 (7.5%) であった。4 月は感染性胃腸炎 29 件 (21.6%、29/134) および下気道炎 29 件 (21.6%) が多かった。

月別ウイルス陽性率は、12 月 61.7% (71/115) が最も高く、次いで 1 月 56.4% (93/165)、3 月 55.0% (99/180)、2 月 54.2% (83/153)、7 月 48.7% (74/152) であった。12 月、1 月、3 月、2 月の陽性率が高いのは陽性率の高いインフルエンザ検体 (12 月: 陽性率 85.3%、29/34、1 月: 93.3%、56/60、3 月: 85.7%、30/35、2 月: 81.1%、43/53)、感染性胃腸炎検体 (12 月: 陽性率 63.9%、23/36、1 月: 48.4%、15/31、3 月: 70.0%、35/50、2 月: 55.2%、16/29)、下気道炎検体 (12 月: 陽性率 55.6%、5/9、1 月: 80.0%、12/15、3 月: 76.2%、16/21、2 月: 45.8%、11/24) の割合が高かったことによるものである。7 月は手足口病 (陽性率 95.5%、21/22)、ヘルパンギーナ (陽性率 87.5%、7/8)、下気道炎 (陽性率 66.7%、12/18) と高い陽性率の検体の割合が高かった。

### (3) 疾患別検体数およびウイルス陽性率 (表 3)

疾患別検体数は、感染性胃腸炎 322 件 (構成比 20.4%、322/1579) が最も多く、以下、インフルエンザ 209 件 (13.2%)、下気道炎 203 件 (12.9%)、無菌性髄膜炎 186 件 (11.8%) であった。その他の検体も 390 件 (24.7%) と多かった (風しんおよび麻しんを除く、以下同じ)。

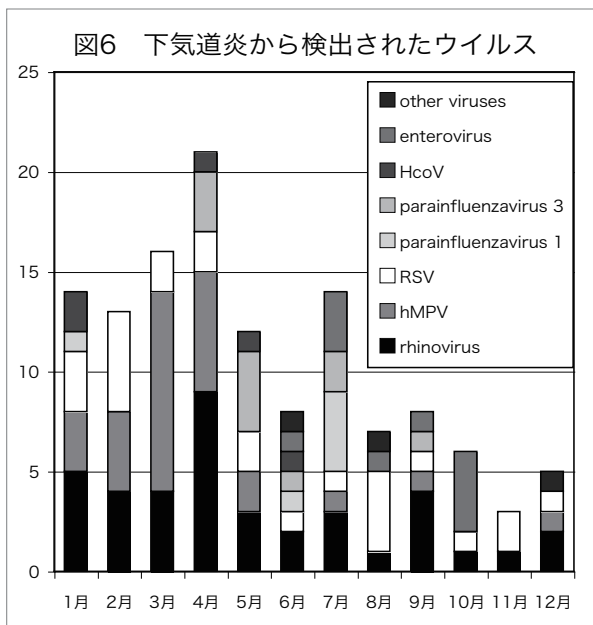
感染性胃腸炎は、3 月の検体が 50 件 (構成比 15.5%、50/322) と最も多く、次いで 5 月 39 件 (12.1%)、12 月 36 件 (11.2%) であった。9 月 11 件 (3.4%)、6 月 12 件 (3.7%)、8 月 13 件 (4.0%) は検体数が少なかった。検出されたウイルスは、ノロウイルスが 73 件 42.4% (73/172)、うち G II 型 68 件が最も多く検出された。次いで、ロタウイルス 51 件 29.7%、うち A 群が 50 件、サポウイルス 21 件 12.2% であった。他にエンテロウイルス 16 件、アデノウイルス 13 件、アストロウイルス 9 件、ライノウイルス 2 件、パレコウイルス 1 件が検出された。

インフルエンザは、1 月の検体が 60 件 (構成比 28.7%、60/209) と最も多く、次いで 2 月 53 件 (25.4%)、3 月 35 件 (16.7%)、12 月 34 件 (16.3%) で、1 月から 3 月および 12 月の検体数で年間検体数の 87.1% (182/209) を占めた。検出されたウイルスは、A H 3 (香港) 亜型 99 件が最も多く、検出ウイルスの 55.0% (99/180) を占めた。次い



で、B型が59件(32.8%)、A H 1pdm09が19件(10.6%)であった。A H 1(ソ連)亜型は検出されなかった。

下気道炎で、最も検体の多い月は、4月の29件(構成比14.3%、29/203)であった。次いで2月24件(11.8%)、3月21件(10.3%)の順であった。9月および12月がそれぞれ9件(4.4%)と検体が少なかった。下気道炎から検出されたウイルスは、ライノウイルス39件が34.2%(39/114)であり、次いで、ヒトメタニューモウイルス28件24.6%、RSウイルス25件21.9%、パラインフルエンザウイルス17件14.9%、うち3型11件、1型6件であった。



他に、エンテロウイルス10件、うちエンテロウイルス68型5件、ヒトコロナウイルス5件、アデノウイルス2件、アストロウイルス1件が検出された。(図6)

無菌性髄膜炎の検体数が多い月は、7月32件17.2%(構成比32/186)、8月30件16.1%、10月25件13.4%、9月23件12.4%の順であった。検出されたウイルスは、エンテロウイルスが52件で、検出ウイルスの89.7%(52/58)を占め、うちエコーウイルス6型が14件、コクサッキーウイルスB5型が12件、エコーウイルス30型7件であった。

疾患別検体のウイルス陽性率は、検体数の少ない2疾患(水痘および流行性耳下腺炎)を除いて、インフルエンザ(86.1%、180/209)が最も高く、次いで、咽頭結膜熱(82.6%、38/46)、RSウイルス感染症(82.4%、14/17)、ヘルパンギーナ(70.6%、12/17)、手足口病(67.7%、42/62)の順であった。また、流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎(61.5%、8/13)、下気道炎(56.2%、114/203)、感染性胃腸炎(53.4%、172/322)も、50%以上の陽性率であった。

インフルエンザから検出されたウイルスについては、前記のとおりである。咽頭結膜熱では、陽性検体38件中、アデノウイルスが29件であり、検出ウイルスの76.3%(29/38)を占め、3型13件が最も多かった。他にライノウイルス4件、パラインフルエンザウイルス3件、エンテロウイルス2件が検出された。RSウイルス感染症では、陽性検体14件中、RSウイルスが12件85.7%(12/14)であった。ヘルパンギーナでは、エンテロ

ウイルスが11件で、検出ウイルスの91.7% (11/12) を占め、コクサッキーウイルスA 8型4件、A 10型3件、A 5型2件、A 6型1件、A 12型1件であった。手足口病は大きな流行が認められ、コクサッキーウイルスA 6型が24件で、検出ウイルスの57.1% (24/42) を占め、次いでエンテロウイルス71型8件が多かった。

一方、陽性率の低い疾患は、脳症・脳脊髄炎 (8.1%、5/62)、無菌性髄膜炎 (31.2%、58/186) であり、その他の疾患 (22.3%、87/390) も低かった。

### 3) 検体の種類別および各疾患における検体別ウイルス陽性率 (表4)

#### (1) 検体の種類別

検体の種類別では、糞便465件 (構成比29.4%、465/1,579) が最も検体数が多かった。以下、咽頭拭い液375件 (23.7%)、鼻汁・鼻腔拭い液366件 (23.2%)、髄液172件 (10.9%)、うがい液83件 (5.3%)、血液・血清61件 (3.9%) の順であった。検体が少なかった検体 (喀痰・気管吸引液、結膜拭い液、皮膚拭い液・水疱、吐物、その他) を除いたウイルス陽性率は、うがい液が80.7% (67/83) で最も高かった。次いで、咽頭拭い液57.6% (216/375)、鼻汁・鼻腔拭い液55.5% (203/366)、糞便43.7% (203/465) であった。髄液は、無菌性髄膜炎と診断された患者検体の主要な検体であるが、ウイルス陽性率は、疾患全体で15.1% (26/172)、無菌性髄膜炎で22.4% (24/107) と低かった。

#### (2) 疾患別

検体数の多い疾患について検体の種類をみると、最も多い感染性胃腸炎の検体では、糞便が93.5% (301/322) を占め、陽性率55.5% (167/301) であった。インフルエンザは、うがい液、咽頭拭い液、鼻汁・鼻腔拭い液がそれぞれ38.8% (81/209)、32.1% (67/209)、26.8% (56/209) であり、陽性率はそれぞれ81.5% (66/81)、94.0% (63/67)、87.5% (49/56) であった。下気道炎では、鼻汁・鼻腔拭い液が67.5% (137/203) を占めており、陽性率61.3% (84/137) であった。無菌性髄膜炎では、髄液57.5% (107/186)、陽性率22.4% (24/107)、糞便23.1% (43/186)、陽性率41.9% (18/43)、咽頭拭い液14.0% (26/186)、陽性率46.2% (12/26) であった。

(文責：入谷)



表3 月別・疾患別検出数とウイルス陽性数

疾患名/月	1	2	3	4	5	6	7	8
インフルエンザ	60(56) Ad2(1),AH1pdm09(1),AH3(48),B(6)	53(43) AH3(28),B(15)	35(30) AH1pdm09(1),AH3(10),B(19)	10(8) AH3(4),B(4)	8(6) AH3(1),B(3),CB(2)		1 (0)	
咽頭結膜熱	1(0)	2(1) Ad1(1)	2(2) Ad1(1),Ad5(1)	3(2) Ad1(1),Ad2(1)	5(5) Ad2(2),Ad4(1),Ad6(1),PIV3(1)	5(5) Ad_untype(1),Ad1(2),Ad2(1),PIV3(1)	6(4) Ad2(1),CB3(1),Rhino(2)	4(4) Ad3(3),PIV1(1)
感染性胃腸炎	31 (15) Ad40/41(1),NVG1(1),NVG2(7),RotaA(4),Sapo(2)	29 (16) NVG1(1),NVG2(4),RotaA(8),Sapo(3)	50 (35) Ad40/41(1),Astro(1),NVG2(10),RotaA(17),Sapo(6)	29 (17) Ad2(2),NVG2(5),RotaA(10),Ad40/41(1)<<2重複1>>	39 (19) Ad2(1),Ad40/41(1),Astro(3),NVG1(2),NVG2(4),RotaA(8),Sapo(2),CB2(1)<<2重複3>>	12 (5) CA9(1),NVG1(1),NVG2(2),RotaA(1)	22 (9) Ad2(1),CA5(1),CA8(1),E11(1),EV71(1),RotaA(1),Sapo(3)	13 (6) Astro(1),CA9(1),E18(1),NVG2(3),Rhino(1),RotaA(1)<<2重複2>>
水痘				1(1) VZV(1)				
手足口病		1 (0)	2(2) CA6(1),CA9(1)	2(2) EV71(2)	8(3) CA10(1),Rhino(2)	14(9) CA6(4),CA9(2),EV71(2),Rhino(1)	22(21) CA6(15),CA8(1),CB1(1),EV71(3),Rhino(1),HSV1(1)<<2重複1>>	8(0)
ヘルパンギーナ			1(1) CA5(1)			4(3) CA10(1),CA8(1),HSV1(1)	8(7) CA10(2),CA12(1),CA6(1),CA8(3)	4(1) CA5(1)
麻疹	11(3) Rubella(3)	27(2) Rubella(2)	55(10) MeaslesDB(3),Rubella(7)	58(45) MeaslesDB(3),Rubella(42)	60(47) HHV6_untype(2),Rubella(45)	26(13) Rubella(13)	25(8) HHV7(1),Rubella(7)	14(3) CA9(1),Rubella(2)
流行性耳下腺炎	2(1) Mumps(1)				1(0)	1(1) Mumps(1)		
脳症・脳脊髄炎	5(0)	4(1) B(1)	4(0)	4(0)	3(0)	9(1) PIV3(1)	9(1) HHV_6untype(1)	11(1) EV71(1)
無菌性髄膜炎	7(0)	10(1) RotaA(1)	12(0)	6(0)	11(1) HHV6B(1)	10(3) EV71(2),Rhino(1)	32(10) CA6(1),CB1(1),CB2(1),E18(2),E30(3),E6(3)<<2重複1>>	30(9) E6(7),E11(1),EV71(1)
口内炎・上気道炎	7(3) Hcov-OC43(1),PIV1(1),Rhino(1)	2(2) Rhino(2),hMPV(1)<<2重複1>>	6(1) HSV1(1)	3(2) Rhino(1),RSA(1)	7(6) hMPV(3),PIV3(1),Rhino(2)	2(1) Hcov-OC43(1)	5(2) Ad_untype(1),E11(1)	
下気道炎	15(12) Hcov-NL63(2),hMPV(3),PIV1(1),Rhino(5),RSA(2),RSB(1)<<3重複1>>	24(11) hMPV(4),Rhino(4),RSA(3),RSB(2)<<2重複2>>	21(16) hMPV(10),Rhino(4),RSA(2)	29(18) Hcov-OC43(1),hMPV(6),PIV3(3),Rhino(9),RSA(2)<<2重複3>>	18(11) Hcov-OC43(1),hMPV(2),PIV3(4),Rhino(3),RSA(2)<<2重複1>>	16(8) Ad6(1),E6(1),Hcov-OC43(1),PIV1(1),PIV3(1),Rhino(2),RSA(1)	18(12) CB1(1),E6(1),hMPV(1),PIV1(4),PIV3(2),Rhino(3),RSB(1),E11(1)<<2重複2>>	14(7) Ad3(1),CA9(1),Rhino(1),RS_untype(3),RSA(1)
RSウイルス感染症	2(2) RSA(2)	2(2) RSA(2)	1(1) RSA(1),Rhino(1)<<2重複1>>				2(1) RSB(1)	3(2) Ad_untype(1),RSA(1)
流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎	1(0)		1(1) Ad37(1)	2(2) Ad37(2)			2(1) Ad4(1)	2(2) Ad54(1),Ad56(1)
その他	34(4) Hcov-NL63(1),RSA(3),Hcov-OC43(1)<<2重複1>>	26(6) AH3(1),CB5(1),Dengue2(1),hMPV(1),Rhino(1),RotaA(1)	45(10) Ad6(1),E11(1),HHV_untype(1),hMPV(2),NVG1(1),Rhino(1),RotaA(1),RSA(2)	45(7) Ad1(1),Ad2(2),HHV6_untype(1),Rhino(3)	47(7) CA9(1),Dengue2(1),PIV3(3),Rhino(2)	37(9) Ad1(1),CA10(1),Dengue1(1),PIV1(2),PIV3(3),Rhino(1)	25(6) CA10(1),CA9(1),Dengue1(1),EV71(1),PIV3(1),Rubella(1)	27(7) CA9(4),CB3(1),RS_untype(1),RSA(1),Rhino(1)<<2重複1>>
風しん	11(5) Rubella(5)	12(8) Rubella(8)	55(41) Rubella(41)	188(163) Rubella(163)	316(242) B(1),CA9(1),CB3(2),RSA(1),Rubella(237)	111(87) CA9(2),Rubella(85)	36(26) CA9(2),Rubella(24)	9(3) Rubella(3)
計	187 (101)	192 (93)	290 (150)	380 (267)	523 (347)	247 (145)	213 (108)	139 (45)
構成 (%)	7.2	7.4	11.1	14.6	20.1	9.5	8.2	5.3
陽性 (%)	54.0	48.4	51.7	70.3	66.3	58.7	50.7	32.4

註：( ) 陽性数、⓪ 2種類以上の検出がみられた検体数  
 AH3,インフルエンザA香港型；B,同B型；Ad,アデノ；CA,コクサッキーA型；CB,同B型；E,エコー；NV,ノロ；HSV,単純ヘルペス；HHV,ヒトヘルペス；hMPVヒトメタニューモ；  
 HBoV,ヒトボカ；PIV,パラインフルエンザ

IV 検査情報

9	10	11	12	計	構成 (%)	陽性 (%)	検出ウイルス
1(1) AH1pdm09(1)	1 (1) B(1)	6(6) AH1pdm09(2), AH3(2),B(2)	34(29) AH1pdm09(14), AH3(6),B(9) .Ad_unttype(1) <<2重複1>>	209(180)	8.0	86.1	Ad2(1),AH1pdm09(19),AH3(99),B(59), CB1(2),Ad_unttype(1) <<2重複1>>
7(5) Ad3(5)	2(1) Ad3(1)	6(6) Ad3(3),EV71 (1),Rhino(2)	3(3) Ad1(1),Ad2(1), Ad3(1)	46(38)	1.8	82.6	Ad_unttype(1),Ad1(6),Ad2(6),Ad3 (13) Ad4(1),Ad5(1),Ad6(1),CB3(1),EV71(1), PIV1(1),PIV3(2),Rhino(4)
11 (1) E18(1)	21 (10) CA4(1),CB3(1), E18(2),NVG2(4) Parecho(1),Sapo(1), Ad2(1),Astro(1) <<2重複2>>	29 (16) Ad5(1),CB3(1), CB5(1),NVG2(13), Rhino(1),Rota_ unttype(1),Sapo(1) <<2重複3>>	36 (23) Ad2(1),Ad6(1), Astro(3),NVG2(16), Sapo(3),Ad5(1), CB5(1), <<2重複3>>	322 (172)	12.4	53.4	Ad2(6),Ad40/41(4)Ad5(2),Ad6(1), Astro(9),CA4(1),CA5(1),CA8(1),CA9(2), CB2(1),CB3(2),CB5(2),E11(1)E18(4), EV71(1),NVG1(5),NVG2(68),Parecho1(1) Rhino(2),Rota_unttype(1),RotaA(50), Sapo(21) <<2重複14>>
				1(1)	0.0	100.0	VZV(1)
2 (2) CA6(1),EV71(1)		2(2) CA6(2),Rhino(1) <<2重複1>>	1(1) CA6(1)	62(42)	2.4	67.7	CA10(1),CA6(24),CA8(1),CA9(3),CB1(1) EV71(8),Rhino(5),HSV1(1), <<2重複2>>
				17(12)	0.7	70.6	CA10(3),CA12(1),CA5(2),CA6(1),CA8(4) HSV1(1)
3(3) Rubella(3)				279(134)	10.7	48.0	CA9(1),HHV6_unttype(2),HHV7(1), Measles(6),Rubella(124)
		2(1) Mumps(1)	1(1) E25(1)	7(4)	0.3	57.1	Mumps(3),E25(1)
1(1) E11(1)	8(0)	4(0)		62(5)	2.4	8.1	B(1),E11(1),EV71(1),HHV_6unttype(1), PIV3(1)
23(15) CB1(1),CB3(3), E11(2),E30(1), E6(4),EV71(2), Rhino(2)	25(14) CB3(1),CB5(12), Rhino(2) <<2重複1>>	12(1) E11(1)	8(4) E30(3),Rhino(1)	186(58)	7.1	31.2	CA6(1),CB1(2),CB2(1),CB3(4),CB5(12), E11(4),E18(2),E30(7),E6(14),EV71(5), HHV6B(1),Rhino(6),RotaA(1) <<2重複2>>
2(0)	3(1) E11(1)	3(1) Rhino(1)	4(1) Rhino(1)	44(20)	1.7	45.5	Ad_unttype(1),E11(2),Hcov- OC43(2),hMPV(4),HSV1(1),PIV1(1), PIV3(1),Rhino(8),RSA(1) <<2重複1>>
9(5) hMPV(1),PIV3(1), Rhino(4),RSA(1), EV68(1) <<2重複3>>	18(6) EV68(4),Rhino(1), RSA(1)	12(3) Rhino(1),RSA(2)	9(5) Astro(1),hMPV(1), Rhino(2),RSB(1)	203(114)	7.8	56.2	Ad3(1),Ad6(1),Astro(1),CA9(1),CB1(1), E6(2),EV68(5),Hcov-NL63(2), Hcov-OC43(3),hMPV(28),PIV1(6), PIV3(1),Rhino(39),RS_unttype(3), RSA(1),RSB(5), E11(1) <<2重複11>><<3重複1>>
2(1) RSA(1),Rhino(1) <<2重複1>>	3(3) Rota_unttype(1), RSA(1),RSB(1)	2(2) RSA(2),Rhino(1) <<2重複1>>		17(14)	0.7	82.4	Ad_unttype(1),Rota_unttype(1),RSA(10), RSB(2),Rhino(3) <<2重複3>>
	1(0)	4(2) Ad54(1),Ad56(1)		13(8)	0.5	61.5	Ad37(3),Ad4(1),Ad54(2),Ad56(2)
27(10) CB3(1),CB5(1), Dengue1(1), Dengue2(3),E11(1), EV68(1),Rhino(1), RSB(1)	26(7) CB3(1),Dengue1(1), Dengue3(2), HHV6B(1),Rhino(3) <<2重複1>>	32(10) Dengue1(1), Dengue3(1),E11(5), Rhino(4),PIV4(1) <<2重複2>>	19(4) Ad3(1), RS_unttype(1), Rubella(3) <<2重複1>>	390(87)	15.0	22.3	Ad1(2),Ad2(2),Ad3(1),Ad6(1),AH3(1), CA10(2),CA9(6),CB3(3),CB5(2), Dengue1(5),Dengue2(5),Dengue3(3), E11(7),EV68(1),EV71(1),Hcov- NL63(1),HHV6_unttype(2),HHV6B(1), hMPV(3),NVG1(1),PIV1(2),PIV3(7), Rhino(17),RotaA(2),RS_unttype(2), RSA(6),RSB(1),Rubella(4), Hcov-OC43(1),PIV4(1) <<2重複6>>
4(0)		6(1) Ad3(1)		748 (576)	28.7	77.01	Ad3(1),B(1),CA9(5),CB3(2),RSA(1), Rubella(566)
92 (44) 3.5 47.8	108 (43) 4.1 39.8	120 (51) 4.6 42.5	115 (71) 4.4 61.7	2606 (1465) 100.0 0.6			
シフルエンザ							

表4 疾患別にみた検体の種類とウイルス陽性数

疾患名/検体名	便	咽頭拭い液	うがい液	鼻汁・鼻腔拭い液
インフルエンザ	2(2) Ad2(1),CB1(1)	67(63) AH1pdm09(6),AH3(32),B(24), CB1(1),Ad_untype(1) <<2重複1>>	81(66) AH1pdm09(2), AH3(47),B(17)	56(49) AH1pdm09(11),AH3(20),B(18)
咽頭結膜熱	2(2) Ad1(1),Ad3(1)	44(36) Ad_untype(1),Ad1(5),Ad2(6), Ad3(12),Ad4(1),Ad5(1),Ad6(1), CB3(1),EV71(1),PIV1(1),PIV3(2), Rhino(4)		
感染性胃腸炎	301(167) Ad2(5),Ad40/41(4),Ad5(2), Astro(9),CA4(1),CA5(1),CA8(1), CA9(2),CB3(2),CB5(2),E11(1), E18(4),EV71(1),NVG1(5),NVG2 (67),Parecho1(1),Rhino(1), RotaA(50),Sapo(21),CB2(1) <<2重複14>>	8(4) Ad2(1),Ad6(1),Rhino(1), Rota_untype(1)		6(0)
水痘				
手足口病	6(1) CA6(1)	47(37) CA6(21),CA8(1),CA9(2),CB1(1), EV71(8),Rhino(5),HSV1(1) <<2重複2>>		4(2) CA10(1),CA6(1)
ヘルパンギーナ	1(1) CA10(1)	16(11) CA10(2),CA12(1),CA5(2),CA6(1), CA8(4),HSV1(1)		
麻疹		91(50) CA9(1),HHV_6untype(1),HHV7(1), ,measlesD8(2),Rubella(45)		3(0)
流行性耳下腺炎		7(4) E25(1),Mumps(3)		
脳症・脳脊髄炎	17(2) E11(1),EV71(1)	3(0)	1(1) B(1)	19(2) HHV6_untype(1),PIV3(1)
無菌性髄膜炎	43(18) CA6(1),CB1(1),CB2(1),CB3(1), CB5(3),E11(2),E30(2),E6(3), EV71(3),Rhino(1),RotaA(1) <<2重複1>>	26(12) CB3(1),CB5(2),E11(1),E30(2), E6(1),EV71(1),HHV6B(1), Rhino(4) <<2重複1>>		5(2) E11(1),Rhino(1)
口内炎・上気道炎	8(2) E11(2)	12(2) PIV1(1),PIV3(1)		20(14) Ad_untype(1),Hcov-oc43(2), hMPV(3),Rhino(7),RSA(1),hMPV(1) <<2重複1>>
下気道炎	13(1) Astro(1)	40(25) Ad6(1),E6(1),EV68(1),Hcov- OC43(1),hMPV(6),PIV1(2), PIV3(2),Rhino(6),RSA(5),RSB(1), E11(1) <<2重複8>>		137(84) Ad3(1),CA9(1),CB1(1),E6(1), EV68(3),HcovOC43(1),hMPV(21), PIV1(4),PIV3(8),Rhino(32), RS_untype(3),RSA(12),RSB(4), Hcov-NL63(1) <<2重複8>> <<3重複1>>
RSウイルス感染症		1(1) RSB(1)		13(12) Ad_untype(1),Rhino(3),Rota_untype (1),RSA(9),RSB(1) <<2重複3>>
流行性角結膜炎		2(1) Ad54(1)		
その他	72(7) Ad1(2),Ad2(2),CA10(1),E11(1), Rhino(1)	102(20) Ad2(1),CA10(1),CA9(4),CB3(1), E11(2),EV71(1),HHV6B(1), hMPV(1),PIV3(3),Rhino(6), RS_untype(1),RSB(1),Hcov- OC42(1),PIV4(1),Rubella(1) <<2重複6>>	1(0)	106(38) Ad1(1),Ad3(1),Ad6(1),AH3(1), CA9(2),CB3(2),E11(3),EV68(1), Hcov-NL63(1),hMPV(2),PIV1(2), PIV3(4),Rhino(13),RS_untype(1), RSA(6),Hcov-OC43(1),Rubella(1) <<2重複5>>
風しん		238(195) Ad3(1),B(1),CA9(5),CB3(1), RSA(1),Rubella(186)	4(4) Rubella(4)	14(9) Rubella(9)
計	465(203)	704(461)	87(71)	383(212)
構成(%)	17.8	27.0	3.3	14.7
陽性(%)	43.7	65.5	81.6	55.4
注：( ) 陽性数、( ) 2種類以上の検出がみられた検体数				
AH3,インフルエンザA香港型; B,同B型; Ad,アデノ; CA,コクサッキーA型; CB,同B型; E,エコー; NV,ノロ; HSV,単純ヘルペス; HHV,ヒトヘルペス;				
hMPV,ヒトメタニューモ; HBoV,ヒトボカ; PIV,パラインフルエンザ,				

IV 検査情報

喀痰・気管吸引液	結膜拭い液	髄液	血液・血清	尿	皮膚拭い液・水疱	吐物	その他	計	構成 (%)	陽性 (%)
		3(0)						209(180)	8.0	86.1
								46 (38)	1.8	82.6
1(0)		4(0)	1(0)			1(1) NVG1(1)		322 (172)	12.4	53.4
					1(1) VZV(1)			1(1)	0.0	100.0
		1(0)	2(1) CA9(1)		2(1) CA6(1)			62(42)	2.4	67.7
								17(12)	0.7	70.6
			106(45) HHV6_untype(1), measlesD8(2), Rubella(42)	79 (39) measlesD8 (2),Rubella (37)				279(134)	10.7	48.0
								7(4)	0.3	57.1
		20 (0)	1 (0)	1 (0)				62(5)	2.4	8.1
		107(24) CB1(1),CB6(2), CB5(5),E18(2), E30(3),E6(10), EV71(1)	2(1) CB5(1)	2(1) CB5(1)			1(0)	186(58)	7.1	31.2
1(1) Rhino(1)		1(0)		1(0)	1(1) HSV1(1)			44(20)	1.7	45.5
6(4) Hcov-NL63(1), Hcov-OC43(1), PIV3(1),Rhino(1), EV68(1) <<2重複1>>		1(0)	2(0)	1(0)			3(0)	203(114)	7.8	56.2
		1(0)					2(1) RSA(1)	17(14)	0.7	82.4
	11(7) Ad37(3), Ad4(1), Ad54(1), Ad56(2)							13(8)	0.5	61.5
2(1) Rhino(1)		34(2) CB5(2)	53(17) Dengue1(5), Dengue2(5), Dengue3(3), HHV6_untype (2),Rubella(2)	19(2) E11(1), Rubella(1)			1(0)	390(87)	15.0	22.3
			262 (198) Rubella(197), CB3(1)	230 (170) Rubella(170)				748(576)	28.7	77.0
10 (6)	11 (7)	172 (26)	429 (262)	333 (212)	4 (3)	1 (1)	7 (1)	2606 (1465)	100.0	
0.4	0.4	6.6	16.5	12.8	0.2	0.0	0.3	100.0		
60.0	63.6	15.1	61.1	63.7	75.0	100.0	14.3			

## 2 細菌検査情報

1) 大阪府内で届け出のあった一類、二類（結核を除く）および三類感染症の病原菌検出状況（表5～9）

大阪府ではこの1年間にペスト（一類感染症）、ジフテリア（二類感染症）は発生しなかった。三類感染症は以下のとおりである。

1. コレラ：発生はなかった。
2. 細菌性赤痢：12例あり、8例が輸入症例であった。
3. 腸チフス：2例あり輸入症例であった。
4. パラチフス：4例あり輸入症例であった。
5. 腸管出血性大腸菌：148症例あり、121症例が血清群O157であった。HUS患者は9例であった。

2) 五類感染症の病原菌検出状況（大阪府立公衆衛生研究所の成績）：(表5-1～5-4)

定点医療機関に病原体サーベイランスについての冊子および検体輸送用のシードスワブを配布し、検体採取の依頼を行った。表には月別の検出数を示した。

表5 大阪府における一類、二類および三類感染症の病原菌検出状況（平成25年）

類型	感染症名	大阪府内計	大阪府内再掲					
			大阪府	大阪市	堺市	高槻市	東大阪市	豊中市
一類感染症	ペスト	0						
二類感染症 (結核除く)	ジフテリア	0						
三類感染症	コレラ	0						
	細菌性赤痢	12(8)	4(3)	7(5)	1			
	腸チフス	2(2)	1(1)	1(1)				
	パラチフス	4(4)	1(1)	2(2)				1(1)
	腸管出血性 大腸菌感染症	148	53	59	20	6	9	1
( ) 内は輸入例数再掲。								



表 6 赤痢菌の菌型

菌型	大阪府内計	大阪府内再掲		
		大阪府	大阪市	堺市
<i>S. dysenteriae</i> 2	1(1)	1(1)		
<i>S. flexneri</i> 2b	1	1		
<i>S. sonnei</i>	10(7)	2(2)	7(5)	1

( ) 内は輸入例数再掲。

表 7 輸入症例の推定感染国（病原菌別集計）

病原菌	推定感染国 ( ) 内数字は分離菌株数。
赤痢菌 <i>S. dysenteriae</i> 2	インド (1)
<i>S. sonnei</i>	インドネシア (4)、インド (1)、ウズベキスタン (1)、ベトナム(1)
チフス菌	インド (1)、インドネシア (1)
パラチフスA菌	インド (1)、インド・ネパール・バングラデッシュ (1)、ミャンマー(1)、カンボジア (1)

表 8 腸管出血性大腸菌の血清群

血清群	VT型	大阪府内計		大阪府内再掲								
				大阪府		大阪市		堺市		高槻市	東大阪市	豊中市
		感染者数	HUS	感染者数	HUS	感染者数	HUS	感染者数	HUS	感染者数	感染者数	感染者数
O157	1&2	98	3	34	1	42	2	12		2	7	1
	2	15		1		11		1		1	1	
	1	2		1						1		
O157抗体価陽性		6	6	2	2	3	3	1	1			
O157小計		121	9	38	3	56	5	14	1	4	8	
O18		1		1								
O26		13		6		2		3		2		
O103		4		3		1						
O111		1		1								
O121		6		3				3				
OUT:HNM		1		1								
O157以外小計		26		15		3		6		2		
O群 不明		1									1	
合計		148	9	53	3	59	5	20	1	6	9	1

### 3) 継続調査病院からの細菌検査情報：(表 10-1 ~ 10-8)

4 病院（箕面市立病院、市立吹田市民病院、府立呼吸器・アレルギー医療センター、りんくう総合医療センター）から情報提供を受けた、平成 25 年の成績を集計して以下の成績を得た。

#### (1) 消化器系材料 (表 10-1)

糞便から検出された病原菌の総数は 292 株であり、黄色ブドウ球菌 140 株が最も多く検出された。

#### (2) 呼吸器系材料 (表 10-4、6-7)

呼吸器系材料から検出された病原菌は 5,433 株で、結核菌 1,034 株と黄色ブドウ球菌 1,321 株が多数を占めた。

#### (3) 泌尿生殖器系材料 (表 10-5、6-8)

材料別にみて 84%が尿からの検出株であるが、検出菌 3,013 株のうち大腸菌 1,045 株が最も多かった。

#### (4) 血液 (表 10-6)

血液からの検出菌は 818 株であり、菌種ごとの検出数は大腸菌 292 株、コアグラールゼ陰性ブドウ球菌 256 株、黄色ブドウ球菌 133 株の順であった。

#### (5) 穿刺液・髄液 (表 10-2、6-3)

穿刺液からは 114 株が検出され、大腸菌が 28 株で最も多く検出された。

髄液からは 3 株検出され、黄色ブドウ球菌が 2 株、B 群溶血性レンサ球菌が 1 株であった。

### 4) レンサ球菌調査 (大阪府立公衆衛生研究所の成績 平成 25 年)

大阪府内の病院においてレンサ球菌感染症患者から分離された A 群溶血性レンサ球菌 18 株および近畿ブロック内で発生した劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者から分離されたレンサ球菌 20 株、計 42 株について解析を実施した。

レンサ球菌感染症患者（咽頭炎 16 例、糸球体腎炎 2 例）から分離された A 群溶血性レンサ球菌の血清型は、T4 4 株、T12 3 株、TB3264 3 株、T6 2 株、T1 1 株、T3 1 株、T9 1 株、T25 1 株、T-UT 2 株であった。

近畿地区内で報告のあった劇症型溶血性レンサ球菌感染症のうち、菌株の確保できた20例について解析を実施、結果を表7に示した。内訳はA群溶血性レンサ球菌が13株、B群溶血性レンサ球菌が1株、G群溶血性レンサ球菌が6株であり、A群溶血性レンサ球菌では血清型のTB3264型が多かった。なお、国立感染症研究所による全国調査の集計では、A群56症例中でTB3264型が17%と最も多く、また、G群が33%と報告されている。

(文責：田口)

表9 五類感染症の病原菌検出状況（検体受付月別検出数）

表9-1 診断名：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

検出病原体	T型	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
<i>Streptococcus pyogenes</i>	1	1											1	
<i>Streptococcus pyogenes</i>	3	1					1							
<i>Streptococcus pyogenes</i>	4	4				1			1			1	1	
<i>Streptococcus pyogenes</i>	6	2						1					1	
<i>Streptococcus pyogenes</i>	9	1										1		
<i>Streptococcus pyogenes</i>	12	3				1							2	
<i>Streptococcus pyogenes</i>	25	1											1	
<i>Streptococcus pyogenes</i>	B3264	3										2	1	
<i>Streptococcus pyogenes</i>	型別不能	2								1				1
	合計	18				2	1	1	1	1		4	7	1

表9-2 診断名：感染性胃腸炎

検出病原体	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
<i>Salmonella</i> Enteritidis	3					1			1				1
<i>Salmonella</i> Cotham	1								1				
<i>Salmonella</i> Infantis	1												1
	合計	5				1			2				2

表9-3 診断名：百日咳（疑いを含む）

検出病原体	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		（ ）：遺伝子検出で陽性とした数を再掲											
<i>Bordetella pertussis</i>	8(4)	2(1)	1(1)			1	1(1)	1(1)	2				
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	1(1)			1(1)									
	9(5)	2(1)	1(1)	1(1)		1	1(1)	1(1)	2				

表9-4 診断名：細菌性髄膜炎

検出病原体	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		（ ）：遺伝子検出で陽性とした数を再掲											
<i>Streptococcus agalactiae</i>	1(1)											1(1)	
<i>Listeria monocytogenes</i>	1(1)												1(1)
	2(2)											1(1)	1(1)

表 10 4 病院\* 集計による病原菌検出情報

表 10 4 病院 (箕面市立・市立吹田市民・府立呼吸器アレルギー・りんくう総合) 集計による  
病原菌検出状況報告

表 10-1 分離材料：糞便

分離材料：糞便 (つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数
003	<i>Salmonella</i> Typhi		026	<i>Clostridium botulinum</i> ,E	
004	<i>Salmonella</i> Paratyphi A		027	<i>Clostridium botulinum</i> ,E 以外	
006	<i>Salmonella</i> 04(B)	5	028	<i>Bacillus cereus</i>	2
007	<i>Salmonella</i> 07(C1,C4)	3	263	<i>Bacillus thuringiensis</i>	1
008	<i>Salmonella</i> 08(C2,C3)	2	041	<i>Entamoeba histolytica</i>	
009	<i>Salmonella</i> 09(D1)	2	092	<i>Escherichia coli</i> 組織侵入性	
010	<i>Salmonella</i> 09,46(D2)		093	<i>Escherichia coli</i> 毒素原性	
201	<i>Salmonella</i> 03,10(E1,E2,E3)		094	<i>Escherichia coli</i> 病原大腸菌血清型	3
013	<i>Salmonella</i> 01,3,19(E4)		305	<i>Escherichia coli</i> EHEC/VTEC	1
014	<i>Salmonella</i> 013(G1,G2)		095	<i>Escherichia coli</i> その他・不明	32
015	<i>Salmonella</i> 018(K)			<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
016	<i>Salmonella</i> その他			<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
017	<i>Salmonella</i> 群不明	10		<i>Shigella flexneri</i> 型( )	
018	<i>Yersinia enterocolitica</i>			<i>Shigella flexneri</i> 型( )	
019	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>			<i>Shigella boydii</i> 型( )	
405	<i>Vibrio cholerae</i> ,01:Eltor,Ogawa,CT(+)			<i>Shigella boydii</i> 型( )	
406	<i>Vibrio cholerae</i> ,01:Eltor,Ogawa,CT(-)		090	<i>Shigella sonnei</i>	1
407	<i>Vibrio cholerae</i> ,01:Eltor,Inaba,CT(+)		091	<i>Shigella</i> 群不明	
408	<i>Vibrio cholerae</i> ,01:Eltor,Inaba,CT(-)			合 計	292
409	<i>Vibrio cholerae</i> ,0139CT(+)		表 10-2 分離材料：穿刺液 (胸水、腹水、関節液など)		
410	<i>Vibrio cholerae</i> ,0139CT(-)		コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数
411	<i>Vibrio cholerae</i> ,01&0139以外		001	<i>Escherichia coli</i>	28
022	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	1	119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	8
104	<i>Vibrio fluvialis</i>		118	<i>Haemophilus influenzae</i>	2
115	<i>Vibrio mimicus</i>		030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
206	<i>Aeromonas hydrophila</i>	6	102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	17
207	<i>Aeromonas sobria</i>		163	<i>Mycobacterium spp.</i>	1
111	<i>Aeromonas hydrophila/sobria</i> 種別せず		024	<i>Staphylococcus aureus</i>	20(7)*
101	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		421	<i>Staphylococcus</i> コアグラージェ 陰性	15
208	<i>Campylobacter jejuni</i>		038	<i>Sterptococcus pneumoniae</i>	1
209	<i>Campylobacter coli</i>		422	<i>Anaerobes</i>	22
023	<i>Campylobacter jejuni/coli</i> 種別せず	83	125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	
024	<i>Staphylococcus aureus</i>	140(105)*		合 計	114
025	<i>Clostridium prefringens</i>				

( )\*:MRSA再掲

表 10-3 分離材料：髄液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
106	<i>Listeria monocytogenes</i>	
024	<i>Staphylococcus aureus</i>	2
032	<i>Stereptococcus B</i>	1
038	<i>Stereptococcus pneumoniae</i>	
	合計	3

分離材料：血液（つづき）

293

426	<i>Salmonella spp.</i>	5
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	32
024	<i>Staphylococcus aureus</i>	133(61)*
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ <sup>+</sup> 陰性	256
032	<i>Stereptococcus B</i>	24
038	<i>Stereptococcus pneumoniae</i>	13
422	<i>Anaerobas</i>	62
042	<i>Plasmodium spp.</i>	
	合計	818

表6-4 分離材料：咽頭及び鼻咽頭からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数
037	<i>Bordetella pertussis</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	704
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
031	<i>Stereptococcus A</i>	21
038	<i>Stereptococcus pneumoniae</i>	503
036	<i>Corynebacterium diphtheriae</i>	
	合計	1228

表6-7 分離材料：喀痰気管支吸引液及び  
下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	1034
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	336
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	355
039	<i>Legionella pneumophila</i>	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	775
024	<i>Staphylococcus aureus</i>	1321(666)*
031	<i>Stereptococcus A</i>	18
032	<i>Stereptococcus B</i>	88
038	<i>Stereptococcus pneumoniae</i>	268
422	<i>Anaerobes</i>	10
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	
	合計	4205

表6-5 分離材料：尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	1045
176	<i>Enterobacter spp.</i>	67
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	195
423	<i>Acinetobacter spp.</i>	6
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	190
024	<i>Staphylococcus aureus</i>	190(123)*
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ <sup>+</sup> 陰性	238
424	<i>Enterococcus spp.</i>	525
425	<i>Candida albicans</i>	84
	合計	2540

表6-8 分離材料：陰部尿道頸部擦過（分泌物）

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	1
032	<i>Stereptococcus B</i>	273
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>	
124	<i>Uraeplasma</i>	
425	<i>Cacdidia albicans</i>	199
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>	
	合計	473

表6-6 分離材料：血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	292
003	<i>Salmonella Typhi</i>	1
004	<i>Salmonella Paratyphi A</i>	

(\*)\*:MRSA再掲

表 11 劇症型溶血性レンサ球菌感染症例

表11 劇症型溶血性レンサ球菌感染症例 平成25年 近畿地区内

	発症日	年齢	性別	性別	発生区域	菌種	血清群	血清型	emm型	転帰
1	2013/01/16	28	女	F	奈良県	<i>S. pyogenes</i>	A	TB3264	emm89.0	不明
2	2013/01/14	38	女	F	神戸市	<i>S. agalactiae</i>	B	Ib		救命
3	2013/02/13	72	男	M	大阪市	<i>S. pyogenes</i>	A	T13	emm90.4b	死亡
4	2013/03/14	52	女	F	兵庫県	<i>S. pyogenes</i>	A	TB3264	emm89.0	不明
5	2013/03/09	5	男	M	尼崎市	<i>S. pyogenes</i>	A	T4	emm4.0	死亡
6	2013/04/02	67	女	F	大阪市	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stG480.0	治癒
7	2013/04/02	79	女	F	滋賀県	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stG485.0	死亡
8	2013/05/26	38	女	F	滋賀県	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stC5345.1	救命
9	2013/07/12	53	男	M	大阪市	<i>S. pyogenes</i>	A	TB3264	emm89.0	軽快
10	2013/07/15	63	女	F	大阪市	<i>S. pyogenes</i>	A	T28	emm28.0	軽快
11	2013/07/22	60	男	M	滋賀県	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stG6792.3	軽快
12	2013/08/28	44	男	M	神戸市	<i>S. pyogenes</i>	A	T1	emm1.0	死亡
13	2013/09/26	68	女	F	大阪市	<i>S. pyogenes</i>	A	TB3264	emm89.0	救命
14	2013/10/26	60	女	F	大阪市	<i>S. pyogenes</i>	A	TB3264	emm89.0	救命
15	2013/10/27	46	女	F	神戸市	<i>S. pyogenes</i>	A	T11	emm112.0	不明
16	2013/11/??	72	男	M	神戸市	<i>S. pyogenes</i>	A	T11	emm11.0	不明
17	2013/11/28	85	男	M	神戸市	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stG2078.0	不明
18	2013/10/25	55	女	F	滋賀県	<i>S. pyogenes</i>	A	TB3264	emm89.0	軽快
19	2013/12/27	40	男	M	京都市	<i>S. pyogenes</i>	A	T1	emm1.0	死亡
20	2013/12/17	77	女	F	滋賀県	<i>S. dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	G		stG6792.3	軽快